

# ほうこん

題字・清水英夫

GALAC・4月号・付録  
2016年4月6日発行(毎月1回6日発行)  
昭和43年3月8日第三種郵便物許可  
〒160-0022  
東京都新宿区新宿5-10-14 中村ビル2F  
NPO法人放送批評懇談会  
TEL(03)5379-5521/FAX(03)5379-5510  
ホームページ <http://www.houkon.jp/>  
Eメール [kondankai@houkon.jp](mailto:kondankai@houkon.jp)  
編集・藤田真文

## 理事選挙は3月30日開票 3月初旬に投票用紙発送

### ―2月理事会報告―

2016年2月24日、2月理事会が開催された。

#### 1. 委員会活動報告

##### ◇出版事業委員会 飯田委員長

・17日に委員会を開催して6月号の特集を決めた。「震災5年をどう伝えたか」「報道番組キャスター交代」の予定。5月号の特集は『『食べる』ドラマ』。表紙は佐藤健さん。ザ・パーソンは大沢悠里さん。

◇選奨事業委員会 藤久委員長  
(テレビ部門)

・2月1日に1月度の月評会を開催して、「赤めだか」(TBSテレビ)、「中居正広のプロ野球魂」(テレビ朝日)、新春スペシャル「100分de平和論」(NHK)、NHKスペシャル「震度7 何が生死を分けたのか」の4本を選んだ。

(ラジオ部門) 橋本委員長

・23日に開催した委員会では音楽

中心の番組「クリス松村のザ・ヒットスタジオ」(毎日放送)と「夜は、おとも」(朝日放送)を試聴した。

##### (CM部門) 稗田委員長

・18日に定例会を開催した。取り上げられた主なCMは「サントリアーボス 北海道新幹線篇」「auでんき 雷さま篇」「ヤナセ ミラー篇」など。

・「CM入賞作品を見て語る会」の会場はオムニバスジャパン赤坂支社の試写室を9月3日と10日を仮押さえた。参加人数によっては2部制にする場合もある。

##### (報道活動部門)

特に動きはなかった。

##### ◇企画事業委員会 川喜田委員長

・2月19日のセミナーは76人の参加者で、約6万円の黒字だった。

◇マイベストTV賞プロジェクト

滝野プロジェクトリーダー

・Gメンバー/正会員サイトのデザインを提出。現在細かい手直しと決済サービ登録の申請中で、3月中には完成の予定。

#### 2. その他

##### ①退会の件

維持会員 mmbi(〜6月)

##### ②選挙管理委員会の件

・選挙管理委員は末田倫子さん、田川義博さん、福島俊彦さんの3名。3月初旬に選挙の投票用紙を発送して、開票は3月30日とする。

##### ③倉庫漏水被害について

・「放送批評」GALACの在庫などを収容するために借りている倉庫で、漏水により、「放送批評」10冊が被害を受けた。倉庫業者の仲介で被害請求する予定だが、印刷会社から雑誌の形態で復元する見積りが出たので、これを提出する。

##### ④ギャラクシー賞贈賞式演出の件

演出担当の入江理事から各部門ごとに選奨を壇上で贈賞する現行の演出を、時間短縮のためやめたいと提案があった。これについてギャラクシー賞の各部門がどのように考えるのかを委員会で話し合った。

てもらった。

ラジオ部門・橋本委員長「ラジオ委員会では12人中8人が選奨で上がるのは価値があることだ」という意見だった。ほかの4人は入江理事の提案に賛成だった。会場配布のパンフレットを充実させてほしいという意見もあった」

CM部門・稗田委員長「基本的には提案に賛成だが、長尺物のCM作品を上映する際は工夫が必要だとの意見が出た。発表の時に制作者名などが字幕で紹介されたほうがいい」

テレビ部門の丹羽委員長からは「提案について特に異論はなかったが、視覚上の演出が必要になるのでは」という意見があった」

報道活動部門の鈴木委員長からは「選奨の当事者から不評なのであれば、入江理事の提案に賛成」との回答がメールであった。

これについて意見交換した。出席理事からは「贈賞式で制作者を壇上に登らせることができるのはいいことなので、それをなくしてしまうのは反対」「地方から来る方たちにとって登壇は晴れの舞台。なくなると応募本数が減るのでは」「表彰式は丁

寧にやって、パーティを簡素化したほうがいい」「アカデミー賞方法の演出は難しい」「会場も変わるのでは変えるなら今しかない」などの意見が出た。

藤田専務理事から有意義な意見交換ができたので、3月の理事会で決定したいとの提案があり了承された。

次回以降の理事会

3月29日(火)

4月28日(木)

【出席】音好宏、橋本隆、藤田真文、川喜田尚、飯田みか、藤久ミネ、稗田政憲、滝野俊一、石井彰、市村元、碓井広義、小田桐誠、茅原良平、上滝徹也、小林毅、桜井聖子、嶋田親一、水島宏明、中島好登

## 会議記録

【2月】……………

1日 (選奨) テレビ月評会

17日 出版編集委員会

18日 (選奨) CM定例部会

23日 (選奨) ラジオ定例部会

24日 理事会

29日 (選奨) テレビ月評会

## 新入正会員自己紹介

### 広報史研究者の視点から

国枝智樹

1984年、ブリュッセル生まれ。18才までバクダッドやジュネーブなど世界7都市で過ごし、色々な国のテレビ番組を見ながら過ごしたのち、上智大学で博士号(新聞学)を取得して、現在大正大学で助教をしています。

主な研究テーマは戦前から現在に至る広報の歴史です。近年ではさまざまな事情で広報番組ないし広報的な情報提供や演出を伴う番組が増えています。広報は商品やサービスの売上に貢献する一方、偏った情報も提供します。政治的にも経済的にも偏った情報が各種メディアに溢れているとされる現在、放送に対して公平・中立な批評活動を行うことの重要性は改めて高まっていると感じています。

このたび、大学院の指導教授だった音好宏先生のお誘いをうけ、私も広報の研究者なりに、微力ながら放送批評懇談会の活動に貢献できればと思います。よろしくお願いいたします。よろしくお願ひ致します。